

## 駒の子短歌

No.62 令和3年2月12日(金) 佐久市立望月小学校

2月4日木曜日、スキー教室があり、6年生と5年生でパラダに行きました。私は去年のスキー教室以来滑っていないので、内心不安でした。でも、いざ滑ってみたら、思っていたよりできたので、よかったです。

午前の部では、1や2などのリフトでしたが、午後の部では難しい4や2の上のリフトに乗り、滑りました。私は特に4でたくさん転びました。雪が柔らかかったので、転びやすかったです。でも、転ぶ度にインストラクターの先生や友だちが助けてくれてとてもうれしかったです。

私は来年の課題に、「体を安定させて滑ること」とインストラクターの方に教わった「目線」の2つを重点的にやりたいと思います。

今年はコロナで例年と少しちがったけど、とても楽しかったです。また来年、小学校最後のスキー教室もがんばりたいです。

ゆうなさん

1年ぶりでも、昨年身につけた技能は身体にしみこんでいるのですね。



助けてもらう嬉しさが、学ぶエネルギーになっているのですね。

インストラクターの先生から教えていただいたことを自分なりに考えて努力していたことが伝わってきます。

来年のスキー教室へと学びをつなげようとしているゆうなさん、素晴らしい!

転ぶ度 助けてもらう うれしさが  
学ぶ意欲に 新たなめあて